

Title	昭和五年及六年三田史學研究會例會報告； 慶應義塾大學文學部史學科及關係諸學科本年度講義題目
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1931
Jtitle	史学 Vol.10, No.2 (1931. 6) ,p.179(337)- 182(340)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19310600-0179">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19310600-0179</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

れり。直ちに出土状態を寫眞に撮影す。精密なる研究は後日に譲るも、約一千五百年前の遺物を想定され、柴田氏は或は支那傳來品にはあらずやと想像さるゝも後日の研究結果に俟たざれば斷言し得られず。更に此の刀の周圍に他の發見物を求むれども遺憾ながら皆無。遂に之を以て最上の收穫となして先づ今次の二回に亘る發掘を終る事とせり。此の日第一號古墳よりも埴輪の破片出土ありしも其の環隄形式には正確なる斷定を下し能はざりき。されど第三號古墳に於て直刀一振の發掘ありしは此の見學に於て最も意義あり且つ修學上殊に裨益する所大なるものありしを信ずるものなり。

斯くて好箇の得難き經驗と收穫を得たる發掘は同日午後六時を過ぎて終了散會し、出土品は即夜學校當局に其の保管を依頼せり。  
(森貞成記)

### 昭和五年及六年三田史學研究會例會報告

昭和五年及び六年度上半期三田史學研究會に於ける講演者及びその演題を列舉せば左の如し。

- 一月三十日(木)午後一時半、於萬來舍洋間、第九十二回例會  
Rinke に於ける世界史の意義……………齋藤成一君
- 初期ローマ帝國に於けるミツラに就て……………篠崎昌夫君  
Magnacarta & Runnyre……………占部百太郎氏
- 一月十三日(木)午後二時半、於萬來舍洋間、第九十三回例會  
ローマに於ける Augustus に就いて……………大島巳之助君

P. Smith: Age of the Reformation の紹介……………有賀春雄氏

現代フランスの史學……………間崎萬里氏  
二月二十日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第九十四回例會並びに卒業生送別會

鎌倉末期に於ける歌道門流の紛争……………犬塚久雄君  
フランソア一世の治世とその宮廷……………藤本善夫君  
五月八日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第九十五回例會並びに幸田先生、新入生歡迎會

戰國武將の婚姻關係について……………小林均三君  
備中倉敷事件……………伊丹榮七郎氏

五月二十九日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第九十六回例會  
ロシアの戰責問題……………田中蒨三君  
Beyrut & Balbeck……………占部百太郎氏

Valeriani の活字本に就いて……………幸田成友氏  
六月十三日(金)午後二時半、於萬來舍洋間、第九十七回例會  
羅馬尼亞に於ける政局……………爲田義雄君  
古代希臘に於ける Polis 成因に就いての一私見……………龜井高孝氏

十月二日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第九十八回例會並びに幸田博士祝賀會

元祿時代の政治……………片岡博光君  
我國上代の紀年に就いて……………橋本増吉氏  
十一月七日(金)午後一時、於萬來舍洋間、第九十九回例會

黃泉と江戸……………中村重嘉君

史學研究と字音……………中山久四郎氏

十一月二十七日(木)午後三時、於第三番教室、第二百回例會

桃山時代の文化……………齋藤國雄君

日本中世に於ける倫理觀と政治思想との相關……………

松本彦次郎氏

一月二十一日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第二百一回例會

大己貴命讓國説話に就いて……………清水辰夫君

王后カロリン離婚事件……………占部百太郎氏

二月六日(金)午後三時、於萬來舍洋間、第二百二回例會

四神の研究……………杉本忠君

近世國家の起り……………山本光郎氏

二月二十一日(土)午後一時半、於萬來舍洋間、第二百三回例會

今宮新氏渡歐送別會、卒業生送別會

古事記神代卷に現はれたる支那思想……………五十嵐已生夫君

夷神考……………長田篤人君

大化改新……………河合操六君

物部の研究……………川野正雄君

老子の研究……………高木修二君

佛教東傳に關する一考察……………中野等霖君

支那古代祭祀よりみたる封建の意義……………中野準一君

小袖の研究……………保原儀三郎君

本邦中世商業史に現れたる座の制度に就いて……………

北村勉君

共和制羅馬制度史序論……………森馨君

前記講演者は何れも本年度卒業生にして、講演は各々その卒業論文の簡單なる紹介なり

五月七日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第二百四回例會、松本芳夫氏歸朝歡迎會、新入生歡迎會

漢字傳來に就いて……………森貞成君

フランス石器時代遺跡旅行談……………松本芳夫氏

五月二十一日(木)午後三時、於第三番教室、第二百五回例會

毛利尼子二氏と石見銀山……………清水辰夫君

長崎平戸町人別に就いて……………幸田成友氏

六月三日(水)午後三時、於萬來舍洋間、第二百六回例會

漢初に於ける經濟政策の變換……………明石貞吉君

修史に於ける紀年の統一的傾向(國史の修史の普遍的紀年に據るべきものとす)……………間崎万里氏

六月二十五日(木)午後三時、於萬來舍洋間、第二百七回例會

ヴァルミーの戰の意義……………平山榮一君

書評……………占部百太郎氏

先史時代の印度……………松本信廣氏

慶應義塾大學文學部史學科及關係

諸學科本年度講義題目(順序不同)

國史

德川時代史(續)

日歐交通史(續)

Botsford, A Source-Book of Ancient History.

平安朝史(院政時代)

幸田成友

最近歐洲政治史(三時間)(法學部講義)

間崎万里

中世史

川上多助

露西亞史(前學年の續き)(第一學期)

L. v. Ranke, Manner u. Zeiten 講讀

齋藤清太郎

東洋史

東洋史概説

其他

支那古代文化史

史學概論

橋本増吉

西域史

歴史哲學

船田三郎

東洋史演習

古文書學

伊木壽一

民族心理學

川合貞一

支那古代の政治社會組織

橋本増吉

考古學概説、日本考古學特に有史時代

東洋古代史

加藤繁

史前文化史概論

東西交通を主とする東洋史概説(近世)

松本信廣

社會學(民俗學概説、佛國社會學名著解題)

西洋史

松本信廣

日本彫刻史(承前)、日本繪畫史(十月頃より)

西洋史概説(近世殊に十九世紀)

松本信廣

Von H. Weimer, Geschichte der Pädagogik 講讀

中世史 講讀

松本信廣

勞作教育思想史

the Middle Ages.

松本信廣

丸尾彰三郎

the Middle Ages.

松本信廣

勞作教育思想史

占部百太郎

勞作教育思想史

西洋史概説(二時間)

占部百太郎

小林立澄兄

史學演習(三時間)

占部百太郎

西洋近世哲學史(ヘヒコンより現代まで)

用書 T. Burchardt, Weltgeschichtliche Betrachtungen.

占部百太郎

西洋倫理學史(カントより現代まで)

Ch. Richet, Abrégé d'histoire générale.

占部百太郎

橋本孝

社會學演習

Tönnies, Gesellschaft und Gemeinschaft.

新館 正 國

美學演習

Schiller, über die ästhetische Erziehung des Menschen

守屋 謙 二

日本法制史

老莊學

近世西洋繪畫史

瀧川 政次郎

小柳 司氣太

板垣 鷹 穂

寄贈交換圖書雜誌目錄

東豫史談 第十一號

歴史と地理 二七の四、五、六

郷土 一の二

南方土俗 一の一

人類學雜誌

四六の三附錄四六の五、六、七  
附錄四六の四、五、六附錄四六の二  
附錄四六の四附錄四六の八

刀劍研究 一七の四、五、六

紀府東はし 田中敬忠

國學院雜誌 三七の四、五

社會新聞

埼玉史談 二の四

東洋文化 八二、八三、八四

史蹟名勝天然紀念物 六の四、五、六

伊豫史談 六五

上毛及上毛人 一六八、一六九、一七一

史苑 五の六、六の一、六の二、三

風俗研究 一三一、一三二、一三三

立命館學叢 二の八、九、一〇

旅と傳説 四の四、五、六

かたな 三五九、三六〇、三六一

西條 史談會

星野 書店

郷土發行所

南方土俗學會

岡 書 院

南 人 社

著 者

國學院大學雜誌部

社 會 新 聞

埼 玉 郷 土 會

東 洋 文 化 學 會

史蹟名勝天然紀念物  
保 存 協 會

伊 豫 史 談 會

上 毛 郷 土 史 研 究 會

立 教 大 學 史 學 會

風 俗 研 究 會

立 命 館 大 學 出 版 部

三 元 社

中 央 刀 劍 會